

ア 第1の4に定めるところによる。

イ 同一学校の同一課程内に2以上の学科(部)のある場合は、第2志望を認めることがある。この場合において、第1志望学科と第2志望学科が同一の大学科に属し、当該大学科に他の小学科があるときは、第3志望まで認めることがある。

ウ 県内の県立以外の公立高等学校を志願した者の志願は認めない。

(2) 志願手続

第2の4の(2)と同じ。ただし、第2の4の(2)のイに掲げる書類の提出期限は、平成24年3月2日(金)正午とする。また、高等学校長が作成する入学志願者の受付台帳は、後期選抜入学志願者受付台帳(様式第12号)とする。

4 志望変更

(1) 志願者は、入学願書提出後原則として1回に限り、2に定める志望変更受付期間中に、志望学校、志望課程又は志望学科(部)を変更することができる。ただし、2の表の(2)の備考の規定により志願受付期間の延長が認められた者については、志望変更を認めない。

(2) 志望変更手続

ア 志望学校を変更しようとする志願者は、志望学校変更願(様式第13号)に、先に交付を受けた受検票を添え、最終在籍学校長(第2の4の(2)のエの申出をした場合にあつては、高校教育課長。以下第3において同じ。)を経て、変更前の志望高等学校長に提出して、志望学校変更証明書(様式第14号)の交付を受けた後、次の書類を変更先高等学校長に提出すること。

(7) 入学願書

(イ) 入学審査料収入証紙納付書(定時制課程を志願した者が全日制課程へ志望変更する場合は、1,330円の長野県収入証紙を貼ること。)

(ウ) 志望学校変更証明書

イ 志望学校を変更しようとする志願者の最終在籍学校長は、第2の4の(2)のイに定める書類を変更先高等学校長に提出すること。なお、学習成績一覧表については、変更先高等学校に既に提出されている場合は不要とする。

ウ 同一学校内における志望課程又は志望学科(部)を変更しようとする志願者は、志望学校(課程・学科・部)変更願(様式第13号)に、先に交付を受けた受検票を添え、最終在籍学校長を経て、当該高等学校長に提出すること。

エ 高等学校長は、志望学校変更願の提出があつたときは、これを受け付け、志望学校変更証明書に

入学審査料	円納付済
-------	------

の表示をし、納付された金額を記入の上、志願者に交付すること。

(3) 県内にある県立以外の公立高等学校から志望変更する場合においても、(2)のア及びイに準ずることとするが、この場合には、第2の4の(2)のアの(イ)に定める書類を併せて提出すること。

(4) 志望変更の参考資料とするため、志望変更受付期間中の各日における受付締切時現在の志願者数を高等学校ごとに発表する。

5 学力検査

(1) 検査の実施

長野県教育委員会が全日制課程及び定時制課程の志願者に対して、同一の問題で一斉に実施する。

(2) 検査の日程、検査教科等

ア 受付 午前8時40分から午前9時まで

イ 点呼、諸注意 午前9時から午前9時20分まで

ウ 入室 午前9時20分から午前9時30分まで

エ 検査教科、検査時間

時限	教科	検査時間	備考
1	国語	9:35~10:25(50分)	休憩 15分
2	数学	10:40~11:30(50分)	休憩 15分
3	社会	11:45~12:35(50分)	昼食 60分
4	理科	13:35~14:25(50分)	休憩 15分
5	英語 (英語リスニングテストを含む。)	14:40~15:30(50分)	

オ その他

高等学校長は、公共の交通機関の関係で、検査に支障のない範囲で時刻を変更することができる。この場合には、当該高等学校長は、あらかじめ高校教育課長の承認を受けるものとする。

(3) 検査場

ア 検査場は、志望高等学校等とする。ただし、高等学校長は、これにより難い志願者について、別の検査場を指定することができる。この場合には、高等学校長は、あらかじめ高校教育課長及び当該別の検査場の実施責任者の承認を受けるものとする。

イ 高等学校長は、志願者に受検票を交付する際、検査場を指定するとともに、アのただし書の場合にあつては、平成24年3月2日

(金) までに当該別の検査場の実施責任者に受検番号、氏名等必要な事項を通知するものとする。

(4) 連絡校

学力検査実施上の連絡のため地域ごとに連絡校を設けるものとし、連絡校は、別表のとおりとする。

(5) 定時制課程において、当該学校長が適当と認めた場合には、一部の教科について学力検査を行わないことができる。

6 入学者の選抜

高等学校長は、次の(1)及び(2)に準拠して、その高等学校の課程、学科等の特性に応じた選抜基準を定め、入学者の選抜を行う。

(1) 選抜は、調査書、学習成績一覧表、学力検査の成績等を資料とし、高等学校の教育を受けるに足る能力と適性等を判定して行うものとする。なお、高等学校長は、面接、志願理由書若しくは自己PR文、作文若しくは小論文又は実技検査を選抜の参考資料とすることができる。

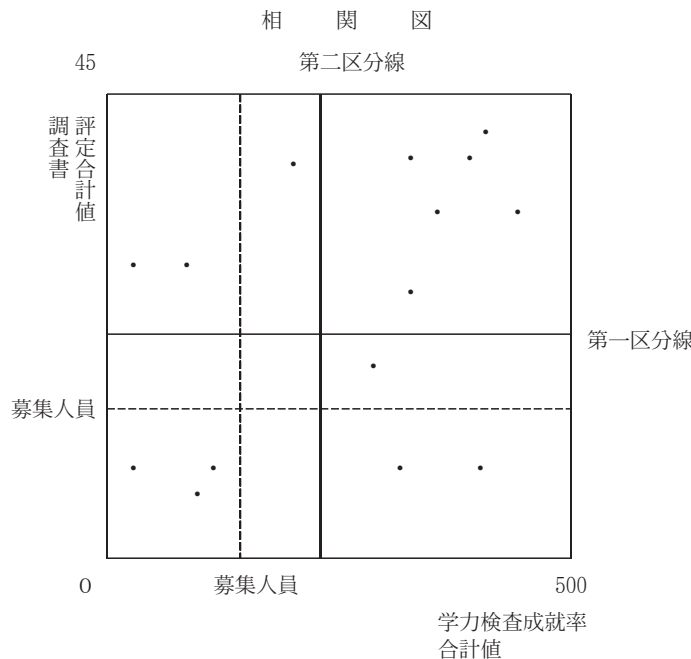
ア 調査書は、各教科の学習の記録のみにとらわれず、総合的な学習の時間の記録、特別活動の記録、行動の記録並びに総合所見及び指導上参考となる諸事項等を総合して選抜の資料とする。

イ 教科の成績については、調査書の必修教科の評定と学力検査結果との相関図を次の方法により下図を参考にして作成し、調査書の選択教科の評定及び記載事項と併せて選抜の資料とする。

(7) 学科ごとに、受検者全員について、調査書に記載されている中学校第3学年の必修教科の評定合計値(最高45点)を縦軸、学力検査成就率合計値(最高500点)を横軸とする相関図を作成する。

(4) 募集人員を考慮して基準人員を設ける。

(ウ) 縦軸について基準人員の数に相当するポイントが区分線の上側の区域に含まれるよう第一区分線を設け、横軸について基準人員の数に相当するポイントが区分線の右側の区域に含まれるよう第二区分線を設けることにより四領域に区分する。



(備考) この図は学校裁量の基準人員を9人(募集人員の90パーセント)に設定して、受検者15人、募集人員10人の場合の例である。

ウ 相関図を選抜の資料とするに当たっては、以下の点に留意すること。

(7) 受検者全員について、各領域の特性を十分考慮して検討すること。

(4) 相関の特異なものについては、特に慎重に検討すること。

(2) 健康の記録は、就学不可能と認められる者以外については、差等をつける資料としないものとする。

(3) 傾斜配点

専門学科において、高等学校長が必要と認める場合は、2教科につき2倍の範囲内で特定の教科に比重を置いた傾斜配点により選抜することができる。その場合、相関図の横軸は傾斜配点による学力検査成就率合計値とする。

(4) 高等学校長は、必要がある場合は、調査書等の記載事項について、最終在籍学校長から、更に詳細な報告を求めることができる。

(5) 高等学校長は、特に必要と認める志願者については、あらかじめ長野県教育委員会の承認を受けて、面接若しくは健康診断又はこの両者を併せ行い、その結果を選抜の資料とすることができる。

第4 再募集

1 高等学校長は、入学予定者数が募集定員に満たなかった場合、再募集を行う。

2 再募集の発表

平成24年3月19日(月)に長野県教育委員会及び再募集を行う高等学校で発表する。

3 入学志願資格

この要綱による後期選抜の学力検査を受けた者のうち入学予定者に内定しなかったものとする。ただし、病気、負傷等特別な事情により学力検査を受けることができなかった者から入学願書の提出があった場合には、高等学校長は、長野県教育委員会と協議の上、志願を認めることができる。

4 志願受付期間

平成24年3月19日(月)から3月22日(木)午後5時まで。なお、郵送する場合は、受付期間内に到着しないものは無効とする。

5 志願手続

(1) 第2の4の(2)と同じ。ただし、高等学校長が作成する入学志願者の受付台帳は、後期選抜入学志願者受付台帳(様式第12号)に準ずるものとする。また、志願者は、入学願書に、後期選抜の志望高等学校、志望課程、志望学科(部)及び受検番号を記入することとする。

(2) 出願後の志望学校、課程及び学科(部)の変更は認めない。

6 入学者の選抜

(1) 第3の6に準じて行う。

(2) 高等学校長が特に必要と認めた場合には、当該学校長が実施する筆記試験を参考にすることができる。

7 入学予定者の発表

高等学校長は、入学予定者を平成24年3月26日(月)までに発表するものとする。

第5 追加募集

1 高等学校長は、定時制課程について、再募集でなお入学予定者が定員に満たなかった場合に、追加募集を行うことができる。

2 志願受付期間

平成24年3月26日(月)から3月30日(金)午後5時まで。なお、郵送する場合は、受付期間内に到着しないものは無効とする。

3 志願手続

第4の5に準ずる。

4 入学者の選抜

第3の6に準ずる。ただし、学力検査に代えて、第3の5の(2)のエに掲げる教科について、当該高等学校長が実施する筆記試験を選抜の資料とする。

5 入学予定者の発表

高等学校長は、入学予定者を平成24年4月3日(火)までに発表するものとする。

第6 通信制課程の選抜

1 実施校及び担当区域

通信制課程を置く高等学校(以下「実施校」という。)及びその担当区域は、次のとおりとする。

実施校	所在地	担当区域
長野県長野西高等学校	長野市箱清水 電話 026-234-2261	長野県立高等学校の通学区のうち第1及び第2通学区
長野県松本筑摩高等学校	松本市島立 電話 0263-47-1351	長野県立高等学校の通学区のうち第3及び第4通学区

2 入学志願

志願者の居住地(入学後の居住予定地を含む。)により、その地域を担当する実施校に出願すること。ただし、当分の間、松本筑摩高等学校の10月入学に関してはこの限りでない。

3 志願受付期間

平成24年2月20日(月)から3月30日(金)午後5時まで。なお、郵送する場合は、受付期間内に到着しないものは無効とする。また、松本筑摩高等学校の10月入学においては、平成24年7月20日(金)から8月21日(火)午後5時まで、同様に受け付ける。

4 志願手続

実施校の校長の定めるところによる。

5 入学者の選抜

(1) 第3の6に準ずる。ただし、学力検査は行わない。

(2) 実施校の校長は、特に必要と認める志願者について面接を行い、その結果を審査の資料とすることができる。

6 入学予定者の発表

実施校の校長は、入学予定者を平成24年4月10日(火)までに発表するものとする。

また、松本筑摩高等学校の10月入学においては、入学予定者を平成24年9月6日(木)までに発表するものとする。

7 その他

上記のほか、通信制課程の選抜について必要な事項は、実施校の校長が定めるものとする。

第7 海外帰国子女等の選抜

1 高等学校長は、在外教育施設の認定等に関する規程(平成3年文部省告示第114号)により中学校の課程と同等の課程を有すると認

定された在外教育施設以外で学んだ海外帰国子女の志願者のうち、外国での滞在期間が継続して2年以上で、帰国後2年以内のものについて、長野県教育委員会と協議の上、学力検査の方法等について特別な配慮をすることができる。

2 高等学校長は、中国残留邦人の三世までの志願者のうち、帰国後6年以内のものについて、長野県教育委員会と協議の上、学力検査の方法等について特別な配慮をすることができる。

3 高等学校長は、入国後の在日期間が3年以内の在県外国人の志願者について、長野県教育委員会と協議の上、学力検査の方法等について特別な配慮をすることができる。

第8 その他

この要綱に定めるもののほか、学力検査及び入学者選抜の実施について必要な事項は、別に定める。

第9 個人情報の取り扱い

入学志願者から提出された入学願書及び調査書等に記載されている個人情報並びに学力検査等の入学者選抜を通じて高等学校長が取得した個人情報は、次の目的以外には利用しない。

- (1) 入学者選抜の資料及び入学手続に係る業務
- (2) 入学後の教育及び指導
- (3) 授業料の減免申請の審査
- (4) 奨学金申請の審査
- (5) 県立高等学校の教育制度及び入学者選抜制度の改善のための調査及び研究

(別表) (第3関係)

連 絡 校

地 域	連 絡 校
下高井郡木島平村及び野沢温泉村 下水内郡 飯山市	長野県下高井農林高等学校
上高井郡 下高井郡山ノ内町 須坂市 中野市	長野県中野西高等学校
上水内郡 長野市のうち長野県篠ノ井高等学校に係る地域を除いた区域	長野県長野西高等学校
埴科郡 長野市のうち旧篠ノ井市、旧更級郡川中島町、同信更村、同更北村及び同大岡村並びに旧埴科郡松代町の各区域 千曲市	長野県篠ノ井高等学校
小県郡 上田市 東御市	長野県上田染谷丘高等学校
南佐久郡 北佐久郡 小諸市 佐久市	長野県小諸商業高等学校
諏訪郡 岡谷市 諏訪市 茅野市	長野県岡谷南高等学校
上伊那郡 伊那市 駒ヶ根市	長野県高遠高等学校
下伊那郡 飯田市	長野県飯田長姫高等学校
木曾郡	長野県木曾青峰高等学校
東筑摩郡 安曇野市 松本市 塩尻市	長野県松本蟻ヶ崎高等学校
北安曇郡 大町市	長野県大町北高等学校

(様式第1号) (第1関係)

(用紙寸法 A4)

所属・隣接通学区以外の高等学校志願承認願

長野県教育委員会 様

年 月 日

現住所

志願者

保護者

印

志願者との関係

下記のとおり、所属・隣接通学区以外の高等学校へ志願したいので承認してください。

記

1 志願する高等学校及び学科

(前期選抜)

第 通学区

高等学校 (全・定)

科・部

(後期選抜)

第 通学区

高等学校 (全・定)

科・部

2 事由 (詳細に)

3 平成24年4月1日以降の住所

副 申

上記の事由について、相違ないことを証明します。

年 月 日

中学校
学校長

印

(注) 不要な文字は消してください。

(様式第2号) (第1関係)

(用紙寸法 A4)

長野県立高等学校志願承認願

年 月 日

長野県教育委員会 様

現住所

志願者

保護者



志願者との関係

下記のとおり、長野県立高等学校へ志願したいので承認してください。

記

1 志願する高等学校及び学科

(前期選抜)

第 通学区

高等学校 (全・定)

科・部

(後期選抜)

第 通学区

高等学校 (全・定)

科・部

2 事由 (詳細に)

3 平成24年4月1日以降の住所

副 申

上記の事由に相違なく、また平成24年度入学者選抜において、貴県の県立高等学校以外の公立高等学校は志願していないことを証明します。

年 月 日

中学校
学校長



(様式第3号)(第1-第5関係)

(用紙寸法 A4)

受検番号												学習成績一覧表番号			
平成 23 年度 調 査 書															
A 生徒	ふりがな氏名									男・女	平成 年 月 日生		卒業見込み 中学校 卒業		
B 出欠の記録	欠席日数		備 考								健康の状況				
	1年														
	2年														
	3年														
C 各教科の学習の記録	教科名		国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	技術家庭	英語	備 考			
	学年														
	必修	1年													
		2年													
		3年													
	選択	1年													
		2年													
3年															
中学校卒業後の学習の状況															
D 総合的間 の学記録											F 行動の 記録	基本的な生活習慣		公共心・公德心	
												健康・体力の向上		(明朗・快活)	
自主・自律		(向上心)													
責任感		(思いやり)													
創意工夫		(寛容・協力性)													
思いやり・協力		(自然愛護)													
生命尊重・自然愛護		(公共心)													
勤労・奉仕															
公正・公平															
E 特別活動の記録															
G 総合参考所となる び諸指事項上															
調査書作成 委員氏名印										記入責任者 氏名印					
上記の記載事項には誤りがないことを証明します。															
年 月 日															
学 校 長												印			

調査書記入の手引

A 生徒

「男・女」及び「卒業見込み・卒業」は、どちらか一方を消すこと。

B 出欠・健康の記録

- 1 卒業見込者の第3学年の出席状況は、前期選抜では平成23年12月22日(木)、後期選抜では平成24年1月20日(金)までの日数を記入すること。
- 2 欠席日数は、出席しなければならない日数(出席停止・忌引等の日数を除いた数)のうちで、欠席した日数を記入すること。
- 3 備考欄には、病欠、事故欠等の主な理由、早退、遅刻の状況や事情等を記入すること。また、第3学年については、1に定めた期日を記入すること。
- 4 健康の状況欄には、高等学校の修学に堪えるかどうかの判断を記入すること。

C 各教科の学習の記録

- 1 評定は、第1学年及び第2学年は、指導要録記載の必修教科(共通履修としての英語を含む。)の評定を転記するとともに、指導要録記載の選択教科の評定も転記すること。
第3学年については、第1の5の(2)に規定するところにより記入すること。
なお、履修していない選択教科の欄には、斜線を引くこと。
また、目標に準拠した評価による評定が不可能な生徒の当該教科の学習成績については、評定欄を空欄にせずに「*」を記入すること。

- 2 備考欄には、次のような事項を記入すること。

- (1) 選択教科に関して特に説明を要する事項
- (2) 教科、学年による著しい差異に説明を要する事項
- (3) 健康状況、体力及び身体上の障害によって学習に影響が及んでいると思われる事項
- (4) 志願者が目標に準拠した評価による評定が不可能な生徒である場合の説明事項
- (5) その他特に説明を要する事項

- 3 中学校卒業後の学習の状況の欄には、過年度卒業生(高等学校を最終在籍校とする者を除く。)について、学習、進歩の状況等の観点から卒業後の学習の状況を記入すること。

D 総合的な学習の時間の記録

総合的な学習の時間の主な学習活動や評価等を記入し、該当する学年を括弧書きで付記すること。

E 特別活動の記録

学級活動、生徒会活動及び学校行事の活動状況について、主な事実を記入し、該当する学年を括弧書きで付記すること。

F 行動の記録

- 1 第3学年について、掲げられた項目ごとにその趣旨に照らして十分満足できる状況にあると判断される場合に○印を記入すること。
- 2 過年度卒業生で旧生徒指導要録に従う場合は、括弧書きの項目とそれ以外の該当する項目に評定し、不要な項目は消すこと。また、学校独自に設定した項目については、空欄に項目を括弧書きで記入し評定すること。

G 総合所見及び指導上参考となる諸事項

CからFまでの記録のほか、進路指導に関する事項、指導上参考となる事項及び生徒の成長にかかわる総合的な所見を記入すること。

H その他

- 1 学習成績一覧表番号欄には、学習成績一覧表の該当する番号を記入すること。
- 2 調査書作成委員氏名欄には、教頭が代表して記名押印すること。
- 3 記載事項のない欄には「なし」と記入するか、斜線を引くこと。
- 4 調査書の記入は、その信頼性及び客観性を高めるため、特に正確を期すること。

(様式第4号) (第1-第5関係)

(用紙寸法 A4)

学 校 長



年度卒業 (見込み)	学 習 成 績 一 覧 表									
	学校 (枚 中 枚)									
番号 \ 教科	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術 ・ 家庭	英語	備考

- (注)
- 1 第1の5の(4)の規定によって作成すること。
 - 2 番号欄には1から順に算用数字を記入すること。
 - 3 様式第5号の集計表を添付すること。

年度卒業(見込み) 学習成績一覧表(段階別人員集計表) 中学校										
教科 評定段階	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健 体育	技術・ 家庭	英語	備考
5										
4										
3										
2										
1										
評定平均値										
合計人員										
									目標に準拠した評価による 評定が不可能な生徒数	名

- (注) 1 学習成績一覧表記載の教科別、評定段階別の人数(目標に準拠した評価による評定が不可能な生徒数を除く)を記入すること。
- 2 評定平均値は、各教科とも小数第二位を四捨五入して、小数第一位まで求めること。
- 3 目標に準拠した評価方法以外の評価方法による評定の場合は、この様式に準じて作成すること。

(様式第6号) (第2-第5関係)

受付年月日	(前期選抜・後期選抜・再募集・追加募集)	受付番号					
※	入 学 願 書	※					
平成 24 年 月 日							
長野県 高等学校長 様							
志願者 _____							
保護者 _____ ㊟							
<p>貴校に入学を志願します。 (志願承認番号 第 号)</p>							
志望 課程	全日 制 定時	志望 学科 ・部	科・部	第2	科・部	判 定	※
				第3	科・部		
志 願 者				保 護 者			
ふりがな	-----			男 ・ 女	昭和 年 氏名 平成 月 日生	志願者との関係	
現住所	〒 — TEL () —			現住所	〒 —		
出身 中学校	平成 年 月			中学校 卒業見込み・卒業			
(この欄は再募集、追加募集に限り記入すること)							
後期選抜志望校		高等学校		制		科・部 受検番号	
志願者連絡先 電話 () —							

◎ 黒のペンまたはボールペンで記入する。

◎ 記入を訂正した場合は、訂正箇所には保護者の㊟を押す。

◎ ※欄は、記入しない。

(様式第7号) (第2関係)

(用紙寸法 A4)

前期選抜入学志願者受付台帳

合 否	受 番 検 号	氏 名	性別	出身中学校	卒 業 年 月	志望学科	面 接	作文 (小論文)	実技検査	備 考

(様式第8号) (第2-第5関係)

(前期選抜・後期選抜・再募集・追加募集) 受 検 票			
受検番号	※	志 望 課 程	全 日 制 定 時
志望学科・部	科 ・ 部		
氏 名			
検 査 場	長 野 県	高 等 学 校	
出 身 中 学 校	中 学 校		
長 野 県		高 等 学 校 長 印	

※欄以外のすべての欄に記入する。

(様式第9号) (第2関係)

(用紙寸法 A4)

前 期 選 抜 合 格 通 知 書	
中学校名 受検番号 氏 名	年 月 日 様 長野県 高等学校長 印
<p>あなたは、平成24年度入学者前期選抜において合格し、本校 制課程 の 科・部の入学予定者に内定しましたので通知します。 については、2月21日(火)正午までに入学確約書を提出してください。</p> <p>(注意) 1 指定の期日までに入学確約書を提出しない場合は、入学を辞退したものとみな します。 2 入学確約書の提出後は、後期選抜、再募集及び追加募集への出願はできません。</p>	

(様式第10号) (第2関係)

(用紙寸法 A4)

前期選抜結果通知書

年 月 日

中学校長 様

長野県

高等学校長

印

平成 24 年度入学者前期選抜の結果、下記のとおりになりましたので通知します。

記

課 程	部・学科名	受検番号	氏 名	合 否

(注) 合否欄には、合格者にあつては「合」を、不合格者にあつては「否」を記入すること。
課程欄は必要に応じて付加すること。

(様式第11号) (第2関係)

(用紙寸法 A4)

入学 確 約 書

年 月 日

長野県

高等学校長 様

中学校名

受検番号

氏 名

保護者氏名

印

本人との関係

この度、平成24年度入学者前期選抜において、貴校 制課程の

科・部の入学予定者に内定した旨の通知を受けました。

については、貴校に入学することを、本人及び保護者連署の上、ここに確約いたします。

後期選抜入学志願者受付台帳

合 否	受 検 番 号	氏 名	性 別	出 身 中 学 校	卒 業 年 月	志 望 学 科	学 力 検 査					そ の 他 の 検 査			備 考
							国 語	社 会	数 学	理 科	英 語	面 接	作 文 (小論文)	実 技 検 査	

(備考) 傾斜配点を実施する場合、各教科の得点は上段に100点満点の得点を、下段の () 内に傾斜配点による得点を表記する。

(様式第13号) (第3関係)

(用紙寸法 A4)

志望学校(課程・学科・部)変更願

平成 年 月 日

長野県 高等学校長 様

志願者氏名

保護者氏名

印

下記のとおり志望学校(課程・学科・部)を変更させてください。

記

(志望変更先)

長野県 高等学校 課程 科・部

※ 第2志望が認められている場合は、第2志望についても記入してください。

上記のことについて了承しております。

中学校

学校長

印

(または最終在籍学校長)

(注) 志望学校(課程・学科・部)については、不要な文字を消してください。

(様式第14号) (第3関係)

(用紙寸法 A4)

志望学校変更証明書

年 月 日

長野県 高等学校長 様

本校(全日制・定時制)課程の 科・部を志願していた
1の者は、2のとおり貴校の(課程・学科・部)へ志望を変更した者であることを証明します。

1 志願者

- (1) 中学校名
- (2) 志願者氏名

2 志望変更先

- (1) 課程名
- (2) 学科・部名

入学審査料 円納付済

長野県 高等学校長



(注) (全日制・定時制)、(課程・学科・部)については、不要な文字を消してください。

高校教育課